

第6回 湖西市地域公共交通会議 会議録

日 時：令和3年1月6日（水） 13時30分～

場 所：市民活動センター 2階 大会議室

出席者：19人

会長	山家 裕史	湖西市副市長
副会長	山本 信治	湖西市産業部長
座長	杉木 直	豊橋技術科学大学准教授
委員	諸井 宏司	遠州鉄道株式会社 運輸業務部長
委員	大久保 公雄	浜松バス株式会社 代表取締役社長
委員	榊原 正之	遠鉄タクシー株式会社 運行営業部長
委員	平野 隆広	天竜浜名湖鉄道株式会社 常務取締役
委員	堀内 哲郎（欠席）	(社)静岡県バス協会 専務理事
委員	江間 綾子 (代理：工藤 文学)	中部運輸局静岡運輸支局 首席運輸企画専門官
委員	田中 友親	遠州鉄道 労働組合 副執行委員長
委員	仲野 弘己 (代理：松林 花奈)	静岡県 交通基盤部 地域交通課長
委員	内海 孝久	静岡県 浜松土木事務所 維持管理課長
委員	馬淵 邦禎 (代理：佐々木 秀喜)	静岡県湖西警察署 交通課長
委員	板倉 福男	湖西市自治会連合会 会長
委員	杉浦 徹衛	湖西市老人クラブ連合会 会長
委員	佐藤 幸夫	湖西市社会福祉協議会 会長
委員	土屋 守廣	湖西市 都市整備部長
事務局	北見 浩二	湖西市 産業部 産業振興課長
事務局	伊藤 明生	湖西市 産業部 産業振興課 公共交通係主任
事務局	小笠原 大悟	湖西市 産業部 産業振興課 公共交通係主任

資料 No.	配付資料タイトル
1	令和2年度湖西市バス運行評価改善報告書
2	新居地区におけるデマンド型乗合タクシー(実証実験)の仕様について
2-1	デマンド型乗合タクシー (チラシ)
2-2	湖西市デマンド型乗合タクシー運行业務仕様書
3	静岡県地域間幹線系統確保維持改善事業評価と取り組み案について
3-1	地域間幹線系統市町取組シート
4	静岡県生活交通確保対策協議会への申し出事項について
4-1	乗合バス路線・自主運行路線調整結果報告書 (湖西市)
4-2	乗合バス路線・自主運行路線調整結果報告書 (遠州鉄道(株)路線)
5	地域公共交通確保維持改善事業の事業評価の報告について
5-1	地域公共交通確保維持改善事業・事業評価 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)
5-2	令和2年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要 (全体)

1 開会

2 会長挨拶

本日はお忙しい中、本会議にお集まりいただきましてありがとうございます。

新型コロナウイルスについて現在も感染が拡大しております。湖西市におきましても、来年度の当初予算の協議を行っているところですが、この影響により大幅な税収減が予想されております。こうした中でも市として新型コロナウイルスの感染拡大防止対策と併せて市の持続的な発展のために必要な施策は、来年度も引き続き行っていかなければいけないと考えております。

その取り組みの中の大きな1つがみなさまにご審議いただきます公共交通施策となっております。来年度におきましてもこれまでの歩みを止めず進めてまいりたいと考えておりますので、委員のみなさまからのお力添えを引き続きよろしくお願いいたします。

さて、以前の会議にてみなさまにご協議いただきました湖西市企業シャトルB a a S事業につきましては11月30日より新所原地区、鷺津地区にて第1期の実証実験を開始し、無事に終わることができました。試乗いただいた市民の方より本格的に稼働すればバス停が近くなるため待ち遠しいとの声や車が運転できないため買い物が便利になるなどの好意的な意見が多く聞かれたところです。

また、来週12日より第2期が新所原地区にて2社の企業様の協力を得て実施される予定です。B a a S事業におきましては、委員のみなさまには様々なご協力をいただきまして改めて御礼申し上げます。本日は、新居地区のデマンド型乗合タクシーの仕様等についてご協議いただく予定となっておりますが、みなさまには忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。

では、本日は、どうぞよろしく御願いたします。

3 報告事項

(1) 令和2年度湖西市バス運行評価改善報告書について

<事務局>

- 資料説明（資料1）

【質問なし】

<座長>

- 私も評価に携わらせていただき、「C」評価のものについては、コロナ禍の状況であり「B」評価でも良いのではないかという意見もありましたが、説明にあったように方法を工夫することができたのではないかなど、そういう点を反省し、次年度以降の取り組みに活かそうという意味を込めて少し厳しめに判定をするにいたった経緯があります。

4 協議事項

(1) 新居地区におけるデマンド型乗合タクシー（実証実験）の仕様について

<事務局>

- 資料説明（資料2）

<委員>

- 2点確認をさせていただきたい箇所があります。1点目は、今回の実証実験は4条での申請で良いでしょうか。もう1点は、運行事業者が決まっていれば教えてください。

<事務局>

- 1点目については、現在運行中の白須賀地区と知波田地区を4条で申請しており、これを拡大する形となるため、4条で申請をしていきたいと考えております。運行事業者についても現行の拡大となりますので、現在の運行事業者である遠鉄タクシーにお願いできればと考えております。来年度のデマンド型乗合タクシーの運行事業者については、今年度、運行事業者選定委員会を行い選定しており遠鉄タクシーが選定されております。

<座長>

- 協議事項1「新居地区におけるデマンド型乗合タクシー（実証実験）の仕様について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

- ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

（2）静岡県地域間幹線系統確保維持改善事業評価と取り組み案について

<静岡県地域交通課、遠州鉄道㈱、事務局>

- 資料説明（資料3）

<委員>

- 資料3-1の市町取組シートに周知の関係が記載されていますが、実際に市民の方からの問い合わせはありますか。

<事務局>

- 窓口への問い合わせはほとんどない状況です。

<委員>

- その状況であれば周知をすることが必要なかどうなのかという部分が、課題に対する取り組みになっているのか難しいと思います。周知が不足しているのか、それともそもそも需要がないのか。そのあたりリンクできるものがあれば教えてください。

<事務局>

- 課題の設定が難しいところではありますが、市としてコーちゃんバスのみを推進していくのではなく、市民からこのような移動をしたいがどうしたら良いかという問い合わせがあった際に、より良い手段の情報提供をすることが重要であると考えておりますので、コーちゃんバスのみではなく浜名線等についても情報発信が必要であると考えております。

<委員>

- 浜名線についてお伺いしたいですが、今までは小学生が定期を購入する際に遠鉄ストア内に遠鉄トラベルがあり、そちらで購入することができました。しかし、現在遠鉄トラベルが撤退したことで、雄踏までいかないと購入できない状態です。増収策の中にWEBで申し込みをして、営業窓口での発券との記載があるが、遠鉄ストア内で購入できるようにするなどしていただければ利用しやすくなると思いますがいかがでしょうか。

<遠州鉄道株>

- 新規定期の場合のご自宅にお送りしていますが、継続定期の場合は、利用者の方が手元に持っている定期券の更新になりますので、一度お預かりして再度お渡しする必要がございます。その点で不便をおかけしているという部分は重々承知しております。現状、継続の場合は窓口に来ていただくしかない状況であり、ご指摘のとおり自動更新機も雄踏営業所にしかない状況でもあります。本日そのようなご意見をいただいたということで、検討を進めてまいりたいと思います。

<座長>

- 今回の協議対象は、市町取組シートではありますが、これは事業者が運行する路線に対して市としてそれを支援するために何を行っていけば良いかということを入るシートという認識で良いでしょうか。

<事務局>

- そのとおりです。

<座長>

- 先ほど土屋委員からも指摘がありましたが、市としての役割やなぜこれらの取組内容が導かれたかという部分がわかりづらいところがありました。運行の改善や周知など市としてできることを取り組みとして行っていくということでよいでしょうか。

<事務局>

- そのとおりです。

<座長>

- 協議事項2「静岡県地域間幹線系統確保維持改善事業評価と取り組み案について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

- ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

(3) 静岡県生活交通確保対策協議会への申し出事項について

<遠州鉄道株、事務局>

- 資料説明(資料4)

<座長>

- 静岡県生活交通確保対策協議会に届出を行うということで、静岡県から内容等についてこの内容で問題がないかやアドバイス等があればご発言をお願いします。

<委員>

- アドバイスではありませんが、2月の協議会にて各市町にご協議いただき、その結果を県にてとりまとめたものを令和3年の生活交通確保計画とさせていただきます。コーちゃんバスも含めて先ほどの地域間幹線などは重要な部分になりますのでみなさんにご協議いただければと思います。

<座長>

- 昨年度との変更点は、デマンド型乗合タクシーに新居地区が加わった点で良いでしょうか。また、今年度の路線再編は反映されているということで良いでしょうか。そのほか大きく変更があった点はなく、例年通り届出をしていくということで良いでしょうか。

<事務局>

- そのとおりです。

<座長>

- 協議事項3「静岡県生活交通確保対策協議会への申し出事項について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

- ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

(4) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価の報告について

<事務局>

- 資料説明（資料5）

<委員>

- バスを身近に感じる人は、本当にバス停の近くに住んでいる人だけではないかと思います。バス停からはなれている方であれば、歩くのが大変であったり、バス路線が近くに通ってない方も同様に身近に感じられないと思います。せっかくバスがあってもなかなか乗りづらいと感じてしまいます。幸い市内の大部分では交通渋滞等も少ないと思いますので、例えばバス停をなくしてしまい、自由に乗り降りできる区間を設けるなどの実証実験はできないでしょうか。

<事務局>

- 面白いアイデアだと思います。運送法の絡みもあると思いますので仕組みを検討する必要があるとは思いますが、できないことではないと思います。

<座長>

- 幹線として路線を決めてその中で乗降自由というのは可能な話かと思います。こういったご意見は警察の方によくあるのかと思います。

<委員>

- 交差点や横断歩道とバス停の位置関係などの問題はありますので、それらの付近では停車できないなどの制約はあると思います。仕組みを作ることが難しいかもしれませんが。

<座長>

- 細かな間隔で仮想のバス停を設置し、社会実験的に実施することは考えられるケースではないかと思います。その仕組みがどれだけ有効か検証しながらであれば、現在の BaaS の仕組みの次のステップとして検討していくのも 1つの方法として考えられます。

<事務局>

- バス停が近くにないと敬遠されてしまうというのは一定数あると思います。それらを解消するために様々な路線が検討されてきています。大容量を低運賃で送迎するバスとドア to ドアのデマンド型乗合タクシーでお互いを補完しながら運行というのもその 1つです。また、その間を埋めるような形で行っておりますのが実証実験中の BaaS であります。いただいたアイデアがうまくはまれば面白いものになると思います。

<委員>

- 先ほどのラストワンマイルの課題がクリアできるのがドア to ドアのデマンド型タクシーではないかと思います。お話にあったフリー乗降という概念はあります。遠鉄タクシーで行っております浜松市の三ヶ日、都田、滝沢地域、阿多古にて、フリー降車は警察の承認を得て運用をしています。ただし、あくまで降車の時だけです。乗車となると急停車などが必要になる可能性もあり危険でありますので実運用しているところは少ないと思います。

<座長>

- おそらくデマンドの方式と組み合わせて行い、事前予約のような形であれば急停車の危険性も減り可能ではないかと思います。

<委員>

- フリー乗降制度については、デマンドの使用により対応等も可能ではないかと思います。協議内容の事業評価につきましては、コロナ禍の状況で評価が難しいところとは思いますがしっかり評価をされていますし、新たな取り組みとしてデマンド型乗合タクシーの拡大やバスの見直し、BaaS の取り組みを行っていくというところで改善が考えられておりますので良いと思います。また、企業シャトル BaaS の取り組みにつきましては、みなさん注目しておりますので、第三者評価委員会の中でも質問ができる可能性がありますのでよろしくをお願いします。

<座長>

- 協議事項 4「地域公共交通確保維持改善事業の事業評価の報告について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

- ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

5 その他

- 特になし

6 閉会

<事務局>

- 以上をもって、令和2年度第6回湖西市地域公共交通会議を終了とします。

以上